

【選択必修】学習指導要領と組織的対応

◆ 講習の目標

この講習は、学習指導要領の動向を踏まえて授業研究と授業実践の在り方を検討すると共に、様々な問題に対する組織的対応の必要性を理解することを目的とします。最新の教育学に加えて、マネジメント論や危機管理論の観点から、学校内外における指導と協働のあり方を受講者と共に考えます。

科目区分	必修	受講定員	80人
履修認定対象職種	教諭、養護教諭	主な受講対象	全教員
受講料	6,000円	履修認定時間数	6時間
開講日	8月6日(火)		
開講場所	麗澤大学 生涯教育プラザ棟 1階 プラザホール		
担当講師名	齋藤之誉、広中 忠昭		
時間割	8月6日(水) 8:20～8:50 受付 9:00～10:30 学習指導要領の改訂の動向等（齋藤） 10:45～12:15 授業研究と授業実践の在り方（齋藤） <修了認定試験含む> 13:30～15:00 様々な問題に対する組織的対応の必要性（広中） 15:15～16:15 学校現場における組織的対応の具体的実践（広中） 16:15～16:50 修了認定試験 16:50～17:00 事後評価アンケートの記入		
試験方法	筆記試験（各講義の終りに修了認定試験を実施する）		
評価基準	各試験の結果の総合判定により合否を決定する。100点満点で評価、60点以上を合格とする。		
認定番号	平 31-30136-301706 号		

◆ 各講義の内容

齋藤之誉（学習指導要領の改訂の動向等）

この講習は、わが国の時代・社会の状況と学校教育の課題に応じて変遷してきた学習指導要領の改訂とその経緯をふまえ、今後の教育研究と授業実践の在り方を展望することを目標としている。講習会の前半（90分）では、特に学習指導要領の変遷を跡づけるとともに、各時期を代表する教育研究の先達に学ぶ授業づくりの在り方を検討する。後半（90分）では、今後の授業研究の在り方について、教育学と隣接諸科学の最新の研究成果と実践例をふまえて展望する。

広中 忠昭（様々な問題に対する組織的対応の必要性）

現在、わが国では信頼される質の高い教員の育成をめざし、各都道府県、育成指標を作成しキャリアステージごとにその内容を定めている。中でも「組織の一員としての責任感と協調性を持ち、互いに高めあう教員の育成」は大きな課題となっている。また、働き方改革を進める中でチーム学校として今後どのように組織的対応を行っていけばよいか、学校内外の連携協力の在り方

も含めて検討する。

キーワード カリキュラム・マネジメント、社会に開かれた教育課程、リスクマネジメント

◆ 講師のプロフィール

齋藤之誉	麗澤大学 経済学部 准教授	専門分野：教育学、社会科教育学
広中 忠昭	麗澤大学 教職センター講師 麗澤大学 学校教育研究科 講師	専門分野：道徳